

ぼくらのまち



大淵第一小
5年
秋山浩晶

ぼくの住んでいる大淵は、公害もなく家のしようめんには富士山が大きくそびえている。昔は天水だったけど、今は水道もある。最近、吉原からバスが来るようになって、交通の便がとてもよくなった。

でも、そのために、ぼくの家横の道

がゆつくり通れなくなつた。ぼくがまだ小学校の1年ごろはがたがた道で、友だちとめんこをして、遊ぶことができた。でも、今はめんこなどしていたら、命がいくつあつてもたりないほど、交通がはげしくなつている。

それに、はさみ虫がいつばいいる木が つぎつぎにたおされ、家がどんどんたつていく。そうなつたら、かぶと虫や、はさみ虫がぼくらの大淵から一ぴきもいなくなつてしまうかもしれない。自然がいつばいある大淵に、どんどん家をたてつづけたら、今に公害がおきるかもしれない。

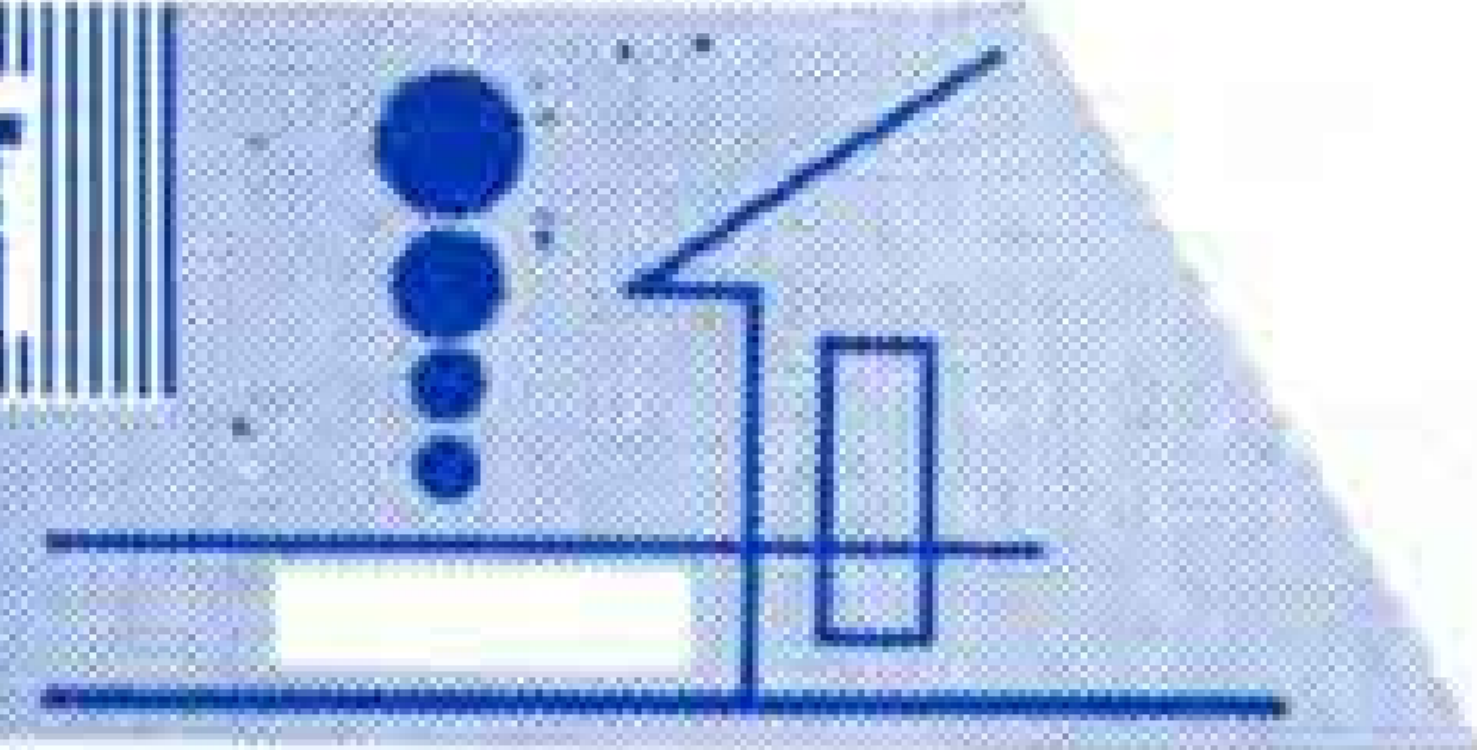
小さいころ、ぼくは、中野の林の中へ入つて行つて、まい子になりそうになり

すごくこまつたことや、その林の中がかぶと虫や、はさみ虫をたくさんとつた思い出がある。今は、林に入つても、たちならんでいる家がたくさん見え、まい子どころではない。それに、かぶと虫がよくいた木は切りたおされ、かぶと虫がこわがつて来なくなつた。落合の方にある「ちようづか」も半分切りくずされ、家がたてられるという。

交通やいろいろのものが良くなるのはいいが、もう少し自然をとつておいてほしいと思う。今は、ぼくらの大淵は歩いて遠足ができるけど、ぼくが大きくなつた時は、歩いてなんかできなくなるんじゃないかと思う。これからは、もうすこしばくらの大淵の自然をだいじにしたい



市政モニター提言



利用者のすくない
御幸町公園

御幸町公園が作られたことについては大賛成ですし、とても良かったと思います。ですが、公園が作られてから見ていると、あまり利用者が少ないように思われます。せつかく素晴らしい公園ができたのに、どうしてかなと考えるようになりました。気づいたことについて、述べてみたいと思います。

まず第1に、中途半端だということです。こども用とすればスベリ台、ぶらんこ、砂場などが無いし、若者用とすればむやみに空間がありすぎるし、お年寄り用としても木かげもなく適していないと思います。

第2に、いかにも作られた公園という感じが強いのです。あまりにも人工的で親しみが感じられません。

第3に、多少重複しますが木が少ないことです。

以上、気が付いたことを述べましたが、今のままでは公園を利用する人もないと思います。休息しようとして

も回りからまる見えだし、友だちとダベツたり本を読もうと思つても木かげもない、子どもをつれていつても遊び道具がない……。公園なのに身のおきどころに困る感じです。

そこで、まずベンチをふやすこと、大きな木をたくさん植えることが必要だと思います。また、人が入つてもいい芝を植えて、十分休息のできるようにしたらどうでしょうか。

なお、下の広場は子ども用にして、遊び道具をそろえ、自転車(子ども用)の乗り入れなども許可したらどうでしょうか。せつかくの公園を、みんなが利用するように、ぜひとも改良してほしいと思います。

(吉原1丁目・小木曾順一)



【広場を子どもたちに解放したら】

後藤さんら3人に
善行表彰=日本顕彰会=

日本顕彰会は、社会に著しい貢献した人に対し、その功に報いるために毎年表彰していますが、富士市から次の3人の方が46年度の表彰者に選ばれました。表彰されるのは後藤孚さん、深沢久さん、小林龍三郎さん。後藤さんは、入山瀬駅や東田子浦駅に四季の花を植え続け、深沢さんは交通安全指導員の幹部として活躍を続けています。小林さんは市役所に勤務してから衛生業務の第1線で20年も長きにわたつて活躍しています。表彰式は3月23日に東京で常陸宮同妃両殿下の御台臨のもとに行なわれます。



後藤孚さん
(久沢・71才)
環境美化



深沢久さん
(柳島・52才)
公德心の涵養



小林龍三郎
さん
(荒田島・70才)
環境美化